

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	笛吹川フルーツ公園	所管課	都市計画課
所在地	山梨市江曾原1411	設置年月日 (改築年月日等)	平成7年
管理方式	指定管理者(山梨市フルーツパーク(株)、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	①以下に掲げる都市公園としての機能を発揮すること。 ・遊び、憩いの場を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮していくこと。 ・良好な緑地景観、環境を提供すること ・果樹にふれあう場を提供すること。 ②主催事業の実施を通じて、果樹に関すること等を学ぶ機会を提供すること。 ③果樹の展示を通じて、果樹にふれあい、果樹を学ぶ場を提供すること。		
主な施設内容 (定員等)	フルーツミュージアム(くだもの館、トロピカル温室、くだもの広場、くだもの工房)、 緑地、水利用施設、園路広場、遊具広場、駐車場		
主な業務内容	① 施設、備品の管理運營業務 ② 施設(緑地を含む)・設備の維持管理業務 ③ 生活環境の緑化、くだものの振興業務 ④ 利用促進のためのイベントの実施		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	公園利用者数	347,800	347,610	334,560	
	有料施設利用者数 (無料利用者を含む)	37,070 (51,568)	36,288 (51,963)	28,845 (43,306)	
	利用者数合計	347,800	347,610	334,560	
	目標値	412,000	412,000	348,000	348,000
	目標値設定の考え方	H18年度の3% アップを見込む	昨年度と同様の 目標とする	H20年度の実績 を目標とする	昨年度と同様の 目標とする
	対19年度比	100.0%	99.9%	96.2%	100.1%
稼働率					

4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	13,606,905	14,200,000	10,901,410	12,060,000
	指定管理者委託料	246,694,000	226,300,000	226,300,000	226,500,000
	その他	8,577,316	0	107,768	0
	収入合計(A)	268,878,221	240,500,000	237,309,178	238,560,000
支出	人件費	102,663,729	77,100,000	69,846,535	71,533,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	164,116,016	163,400,000	157,764,275	167,027,000
	(うち外部委託費)(B)	96,372,267	89,700,000	83,892,999	88,732,000
	支出合計(C)	266,779,745	240,500,000	227,610,810	238,560,000
収支差額(A-C)		2,098,476	0	9,698,368	0
外部委託比率(B÷C)		36.1%	37.3%	36.9%	37.2%
利用者一人当たりの経費		710	650	676	651

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年4月～22年3月 実施方法:公園利用者へのアンケート 回答数:1,464人
-------	---

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①遊び、憩いの場の提供	51.0%	40.0%	9.0%	0.0%
②果樹を学ぶ場の提供	47.0%	42.0%	11.0%	0.0%
③公園職員の対応	42.0%	48.0%	10.0%	0.0%
④公園の満足度	68.0%	19.0%	13.0%	0.0%
各項目の平均	52.0%	37.3%	10.8%	0.0%

利用者の意見	・樹木等の手入れが行き届いていて、園内がきれい。 ・レストランの内容や売店における対応に不満がある。 ・フルーツ公園なのにフルーツが食べられない。くだもの狩りがしたい。
利用者の意見への対応	・今後も植栽管理を徹底し、快適な環境を提供していく。 ・レストラン及び売店利用者のニーズに対応できるよう、改善に努める。 ・園内で収穫したリンゴ、巨峰、ラ・フランスのオリジナルジャムを作り、ボランティア活動等の記念品として提供した。また、利用者のニーズに答えて、今年度7月から10月まで果物の販売を実施した。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	利用者に安全、快適な環境を提供するため、施設・設備の点検や、果樹・緑地の適正な管理に努めた。	適切に日常管理を行っており、不具合箇所の早期発見に努めていた。
運営業務	安全で快適な環境を提供するとともに、様々なイベント(別紙1、2参照)をとおして、果樹提供、緑化の推進を図り、都市公園の機能充実に努めた。	公園の特色を生かしたイベントを開催するなど、果樹や緑化に関する情報を提供していた。
自主事業	1年を通して、季節にあったイベント(別紙3参照)を開催し利用者促進を図った。	利用促進のためのイベントを開催し、利用者から好評を得ていた。 レストラン及び売店に対するアンケートに不満が多いため、対策を講じること。
利用状況	経済不況により旅行を抑える傾向が見られ、また、新型インフルエンザの影響も加わったことが利用者減の要因と思われる。	利用者数が減少しているため、原因を分析し、利用者が増加するような対策を講じること。
収支状況	植栽管理については、山梨市内にある5社からなる組合と契約をすることにより経費削減を図った。	植栽管理の再委託契約を工夫するなど効率的な運営をしていた。 経費削減の努力は評価できるものの、利用料金収入が減少したため、原因を分析し、有料施設の利用促進を図ること。
利用者満足度	全体的には、ある程度の評価を頂いたと思われるが、今後は、さらに満足度を上げるように努めていく。	ある程度の満足度は得られているが、一般的な満足度評価値80%と比較すると公園の満足度は68%は、高い満足度とはいえない。 満足度調査等から利用者のニーズを把握し、サービスの向上(満足度の向上)を図ること。
運営目標の達成状況	運営目標の指標 入園者数 目標値 348,000人 → 実績値 334,560人 有料施設利用者数 目標値 52,000人 → 実績値 43,306人 入園者数、有料施設利用者数ともに目標をおおむね達成している。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	都市公園として、自然とのふれあいの場やレクレーションの場という快適な環境を提供するために、施設管理や植栽管理等を徹底していたが、施設の老朽化が進んでいるため、施設等の維持管理を強化すること。 また、公園の特色を生かしたイベントを開催するなど、果樹や緑化に関する情報を提供していた。 しかし、利用者数が減少しているため、原因を分析し、利用者が増加するような対策を検討するとともに、利用者のニーズに対応し、さらなる満足度が得られるよう、努力する必要がある。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	経年劣化等により頻繁に発生する施設・設備等の修繕において、迅速に対応し安全確保を第一に利便性を低下させることのないよう実施していた。	

7. 管理体制(組織図)

